

青雲の志

ゆがふいん杯野球大会

野球部は久々の快挙を成し遂げました。顧問の渡慶次 靖先生のコメントを紹介します。

■対 大宜味中学校 3ー2 勝利

これまでの対戦成績は4勝2敗。

しかし、公式戦13大会連続1回戦敗退のプレッシャーがあった。悪天候

の中だったが、皆で、あわてずに試合を進めることができた。特に1年生が試合に出場したことは、今後のチームにとって、良い刺激となるであろう。

■対 大宮中学校 3ー0 勝利

練習試合で対戦したときは、8ー0で完敗。エース前川尚農が完璧に打たれた。今回は、変化球に自信を持つ島袋太誠を起用。打たせて取るピッチングと守備がうまく、かみ合った試合だった。攻撃は、ワンチャンスを皆でものにし、最後まで流れに乗ることができた。

①ピッチャーがストライクを先行させた。

②エラーがなかった。

③足をからめた攻撃ができた。

のがポイント。格上の相手に公式戦で勝ったことは、大きな自信になる。



サッカー強化大会

サッカー部も着実に実力をつけています。以前は、大差で負けていた伊是名中学校と接戦でした。顧問の比嘉 司先生のコメントを紹介します。

■対 伊是名中学校 0ー2 1回戦敗退

前半、最初の7分間はとてもいいゲームで相手にシュートチャンスもなく良かったが、7分過ぎに相手のファーストシュートが手に当たり、ハンドの判定。PKとなり、1点を先制された。国中にも惜しいシュートが3本ぐらいあったが、前半はそこで終了。ハーフタイムでも生徒同士、相談するなど、とてもいい雰囲気の後半に入る。しかし、後半もクリアミスから失点してしまいました。それでも最後まで諦めないでがんばっていた。試合終了後のミーティングでも、前向きな意見が出ていて、とてもよかった。とても素直な生徒が多く、やりがいのあるチームである。



バスケットボール強化大会

女子バスケットボール部もベスト4は逃しましたが、今後が楽しみです。顧問の富真 克享先生のコメントを紹介します。

■対 上本部中学校 64ー52

■対 名護中学校 42ー60

上本部中戦は、全員出場し、勝つことができ

ました。それが、一番良かったと思います。名護中戦は前半、緊張しすぎて力を出し切れず、最大30点差まで開いた。後半に入り、少しずつ力を発揮したが、18点差までしか、つめることができなかった。夏季大会は、ベスト4に入り、県大会出場を目指すぞー！



中学生のための礼儀・作法

横浜市教育委員会が発行している「中学生のための礼儀・作法読本」という冊子から一部紹介します。

『黙動』～B小学校の取組～

B小学校では、掃除の時間、話し声が聞こえません。先生も、子どもも、皆が黙って掃除をしているからです。

この「黙動」という取組を始めてから、以前に増して、早く、きれいに掃除ができるようになったそうです。

「15分かかっていた掃除が、10分でできるようになったよ。」「今まで気付かなかった友達の姿に気付いた。すみずみのごみをしていねいに取るなど、一生懸命掃除をしている姿、がんばる姿を見ることができるようになったよ。」…小学生の感想です。

本校でも、今週から、縦割り班による10分間の「黙動清掃」を取り入れていきます。国中でもこのような感想が聞けたらいいですね!!

平成24年度 国頭中学校グランドデザイン

校訓

自学 (self-study) ・ 自律 (self-control) ・ 自力 (self-power)
星雲の志を持ち 北斗の星となれ!

教育目標

- ◇ 進んで学び よく考える生徒 (知)
- ◇ 人権を尊び 支え合い 助け合う生徒 (徳)
- ◇ 心身ともに健康で たくましい生徒 (体)

今年度の目標

互いにかかわり 学び合い 伝え合う

生徒・職員・家庭・地域が互いにかかわり、寄り添い(依存し合って)、家庭・地域・学校〔授業・行事・部活動〕で**学び合い**、学んだことや考え・思いを**聞き合い**、**伝え合う**

基盤となるのは、一事徹底事項『聞き合う』

いつでも、どこでも、誰とでも、眼と心で『聞き合う』関係をつくる

重点実践事項

静黙読書

- みんなでやる
- 毎日やる
- 好きな本でよい
- ただ読むだけ

静と動

黙動清掃

- みんなで協力する心
- おしゃべりを我慢する心
- 場所やモノに感謝する心
- 汚れに気づき、工夫する心

授業改善

- 教師と生徒とのかかわりを変える
- 聴く・つなぐ・もどす
- 日々の授業改善につながる研究協議

日常的・計画的な取組

聞き合う学級づくり

- 生徒と生徒とのかかわりを変える
- 「コの字型」机配置と小グループ活動
- 生徒への対応を「柔らかく」に変える

行事・会議・日課表の改善

- 授業時数の確保, 多忙感の軽減
- 行事・会議の精選, 運営方法の工夫
- 日課表の工夫・改善

地域連携の強化

- 保護者・地域とのかかわりを変える
- 保護者の授業や行事への参加を促進
- 積極的な情報発信による正しい理解

一点突破

積極的な生徒指導 ⇄ 道徳教育の充実 ⇄ 部活動の充実 ⇄ キャリア教育の充実

生徒・保護者・地域に開かれた、信頼される学校

(生徒にとっても、保護者・地域にとっても、教師にとっても魅力ある学校)

- 学校：「子どもたちが学び合う場所としての学校、教師が専門家として学び成長し合う場所としての学校、親や住民が学校の教育活動に参加して互いに学び合う場所としての学校(『学びの共同体』の理念に基づく学校づくり)」
- 生徒：「登校するのが楽しい」(安心・安全)「授業が楽しく、よくわかる」(成就感)
- 保護者：「子どもの変容がよく見える」「学校が生き生きしている」「学校に協力したい」
- 職員：「仕事にやりがいを感じる」「同僚同士の連帯感があり、何でも相談できる」

※「生徒は、学び続ける限り決して崩れない」

※「学校改革がうまくいかないのは、子どもの力を借りていないからだ。」

※「学校は内側からしか変わらないし、内側からの改革は、外からの支援なしには持続しない。」